

令和3年度事業計画

自 令和3年10月1日 至 令和4年9月30日

I. 展覧会

1. 第50回「日本の書展」直轄展

(1) 中部展

会 期 令和4年5月31日（火）～6月5日（日）
会 場 愛知県美術館ギャラリー（愛知芸術文化センター8階 A～I）
主 催 （公財）全国書美術振興会 中日新聞社
後 援 文化庁（申請予定） 愛知県（申請予定） 東海テレビ放送（申請予定）
協 賛 （公社）中部日本書道会
開催披露祝賀会 令和4年6月1日（水） 18:00～
名古屋東急ホテル 3階 「ヴェルサイユ」
ギャラリートーク 令和4年6月4日（土） 14:00～
愛知県美術館ギャラリー

現代書壇巨匠・現代書壇代表の巡回作品約110点、ならびに、愛知県・岐阜県・三重県の3県から選出された委嘱・招待・秀拔選作品を併せて展示する。

(2) 東京展

会 期 令和4年6月16日（木）～6月26日（日） 6月21日（火）は休館日
会 場 国立新美術館（展示室1A・1B・1C・1D）
主 催 （公財）全国書美術振興会 共同通信社
後 援 文化庁（申請予定） 東京都（申請予定）
開催披露祝賀会 令和4年6月16日（木） 12:00～
ホテルオークラ東京（プレステージタワー） 1階 「平安の間」
ギャラリートーク 令和4年6月18日（土） 14:00～
令和4年6月25日（土） 14:00～
国立新美術館

現代書壇巨匠・現代書壇代表の巡回作品約110点、ならびに北海道・東北・関東甲信越・富山県・石川県・静岡県から選出された委嘱・招待・秀拔選作品を併せて展示する。また、東京展会場には、関西展委嘱・中部展委嘱・九州展委嘱作品も展示する。

(3) 関西展

会 期 令和4年7月8日（金）～7月10日（日）
会 場 大阪国際会議場（グランキューブ大阪 3階イベントホールA～E）
主 催 （公財）全国書美術振興会 産経新聞大阪本社
後 援 文化庁（申請予定） 大阪府（申請予定）
協 賛 （公社）日本書芸院
開催披露祝賀会 令和4年7月8日（金） 12:30～
リーガロイヤルホテル 3階 「光琳の間」
ギャラリートーク 令和4年7月9日（土） 14:00～
大阪国際会議場

現代書壇巨匠・現代書壇代表の巡回作品約110点、ならびに、関西2府5県、山口県以外の中国4県、四国4県から選出された委嘱・招待・秀拔選作品を併せて展示する。

(4)九州展

会 期	令和4年7月12日(火)～7月18日(月・祝)		
会 場	第1会場	福岡市美術館(大濠公園内 2階ギャラリーA～F)	申請中
	第2会場	福岡県立美術館(須崎公園内 3階展示室1～4号室)	申請中
主 催	(公財)全国書美術振興会 西日本新聞社		
後 援	文化庁(申請予定) 福岡県(申請予定)		
開催披露祝賀会	第1候補	令和4年7月12日(火) 12:30～ 西鉄グランドホテル 2階 「プレジール」	調整中
	第2候補	令和4年7月16日(土) 12:30～ ソラリア西鉄ホテル福岡 8階 「彩雲」	調整中
ギャラリートーク	令和4年7月17日(日) 14:00～ 福岡市美術館		

現代書壇巨匠・現代書壇代表の巡回作品約110点、ならびに、九州7県・山口県・沖縄県から選出された委嘱・招待・秀抜選作品を併せて展示する。

2. 第49回および第50回「日本の書展」巡回展

会 期	第49回巡回展	令和3年7月～令和4年4月
	第50回巡回展	令和4年8月～令和5年4月
会 場	第49回展は地方8カ所で開催予定、現在富山展のみ終了。	
主 催	(公財)全国書美術振興会 共同通信社 各地元新聞社	
後 援	文化庁(第49回展は使用許可済み、第50回展は申請予定)	
現代書壇巨匠・現代書壇代表の巡回作品(第49回展は116点)に、各地元から選出された作品を併せて展示する。		
令和3年度事業としては、令和3年10月から令和4年4月開催の第49回巡回展、その後、詳細は未定だが、令和4年8月から9月までの第50回巡回展が開催される予定。		

第49回「日本の書展」巡回展 実施会場一覧

	開催地	地元主催新聞社	会 場	会 期	地元作品数	入場者数
1	富山 富山市	北日本新聞社	富山県民会館	3.7.15～7.18	138	1,066
2	鳥取 米子市	山陰中央新報社	米子市美術館	3.8.27～8.30	200	568
3	青森 青森市	東奥日報社	New's T0-0ビル3階催事場	3.9.4～9.6	—	—
4	広島 広島市	中国新聞企画サービス	福屋広島駅前店 8・9階催事場	3.9.30～10.5	—	—
5	岡山 岡山市	山陽新聞社	天満屋岡山店 6階 葦川会館	3.10.13～10.18	—	—
6	奈良 奈良市	奈良新聞社	奈良県文化会館	4.2.23～2.27	—	—
7	長野 長野市	信濃毎日新聞社	ながの東急百貨店	4.3.3～3.8	—	—
8	茨城 水戸市	茨城新聞社	茨城県立県民文化センター	4.4.9～4.14	—	—

※白部分が、今年度(令和3年度)事業

3. 第50回「日本の書展」東京展 公募臨書

<展覧会>

会 期	令和4年6月16日(木)～6月26日(日) 6月21日(火)は休館日		
	※ 作品掛け替えをする場合		
	前期展示	令和4年6月16日(木)～6月20日(月)の5日間	
	後期展示	令和4年6月22日(水)～6月26日(日)の5日間	
会 場	国立新美術館(展示室1Dの一部)		
主 催	(公財)全国書美術振興会		
後 援	文化庁(申請予定)		

<審査（鑑別）>

日 時 令和3年12月9日（木）の予定

会 場 国立新美術館審査室

審査委員 全国書美術振興会役員の代表理事（会長・理事長）・常務理事・理事・監事が、隔年交代で審査に当たる。

第49回「日本の書展」関西展・九州展が開催中止となったために、令和3年6月開催の中部展および東京展でのみ「公募臨書」出品要項の配布を開始し、ホームページ等でも出品を募っている。出品受付期間は令和3年9月14日～9月29日の約2週間。

国立新美術館1D会場の一部を使用して、第50回「日本の書展」東京展と同時開催で展示を行う。詳細は出品要項参照。

II. 「日本の書展」第50回記念事業

1. 記念誌の刊行

名 称 『「日本の書展」第五十回記念 全国書美術振興会五十年の歩み』

内 容 第1部 全国書美術振興会五十年史（約100ページを想定）

第2部 「日本の書展」を築いた先達の書の図録（約120ページを想定）

配 布 第50回「日本の書展」出品者および関係者に記念品として贈呈

販 売 一般頒価3,000円（消費税込み）で展覧会場等で販売予定

2. 特別展の開催

名 称 「日本の書展」第五十回特別展「日本の書展を築いた先達の書」

会 期 令和4年6月14日（火）～6月19日（日）

会 場 セントラルミュージアム銀座（紙パルプ会館5階）

主 催 公益財団法人 全国書美術振興会 共同通信社

後 援 文化庁（申請予定）

入場料 無料

展示内容

①「日本の書展」の出品作家で、現代書壇を形作ってきた文化勲章受章者、文化功労者、日本芸術院会員、日本芸術院賞受賞者、毎日芸術賞受賞をはじめとする物故書家の代表的作品約60点の展示

②全国書美術振興会初代理事長福島慎太郎の勲一等瑞宝章受勲を記念し、「日本の書展」出品作家により制作、寄贈された「受勲記念帖」の展示

③全国書美術振興会五十年史年表の展示

④全国書美術振興会創立時の写真パネルの展示

※②の「受勲記念帖 乾坤」は、特別展示として、第50回中部展、関西展、九州展の展覧会場内にも展示予定。

III. 「子どもゆめ基金」助成子ども体験プログラム(ワークショップ)

名 称 筆もじにトライ！2022 [調整中]

日 時 令和4年8月10日（水）・11日（木・祝）・12日（金）の3日間

場 所 国立オリンピック記念青少年総合センター

国際交流棟 2階 「第1ミーティングルーム」

対 象 3歳～小学校3年生までの子ども（保護者同伴）

※借用施設の定員数によって、対象範囲を調整する可能性あり

体験人数 コロナ感染症の状況を見ながら、160～240名の間で募集人数を検討していく

参加費・材料費 無料

助 成 独立行政法人国立青少年教育振興機構・子どもゆめ基金を申請予定

IV. 書写・書道教育推進協議会

事業計画は別紙にて

V. 日本書道ユネスコ登録推進協議会

事業計画は別紙にて

VI. 日本書道文化協会

事業計画は別紙にて

VII. 機関誌および書美術に関する出版物刊行ほか

1. 展覧会作品集等の制作

(1) 第50回「日本の書展」直轄展

- ① 図録
- ② 出品者本人の作品ブロマイド
- ③ 出品者名簿
- ④ 案内はがき
- ⑤ ポスター
- ⑥ 外国人向け展覧会概要リーフレット

(2) 第50回「日本の書展」巡回展

図録（直轄展と同図録）

(3) 第50回「日本の書展」公募臨書

- ① 入選者名簿
- ② 入選證

(4) 第51回「日本の書展」公募臨書

出品要項

(5) 第50回記念事業

- ① 記念誌『「日本の書展」第五十回記念 全国書美術振興会五十年の歩み』
- ② 「日本の書展」第五十回特別展「日本の書展を築いた先達の書」目録

2. 「子どもゆめ基金」助成子ども体験プログラム「筆もじにトライ！2022」の制作

募集チラシ

3. 機関誌「書美術」第39号の刊行

4. ホームページの更新

VIII. 講演会・研究会等

書美術の振興のために、東京および各地で講演会、研究会を開く。

IX. 書美術功労者の顕彰

書美術の振興に功績のあった個人、団体を表彰する。

以上